

こどものほん 新刊あんない

2024年 11 月号



「くまくん こぐまくんの バナナ屋さん」

乾 栄里子//作 松田奈那子//絵 E 913イ 文溪堂 2024年9月発行

くまくんとこぐまくんが、バナナ屋さんをはじめました。でもお客さんがだれもきません。「だって、バナナは森にあるからね」と言われたふたり。さてさて、うーんと考えたふたりがおもいついたのは…？



「うえをみて！」

チョン・ジンホ//絵・文 斎藤真理子//訳 E 929チ ハッピーオウル社

2024年9月発行

車いすのスジは、ベランダから下の人たちをながめる毎日。誰もスジのことに気づきません。でもある日、「うえをみて！」というスジの気持ちに気づいてくれた男の子が！ひとり、またひとり…と“うえをみる”人が増えていくスジのうれしさが、モノクロの大胆な構図の絵で表現されています。



「ひとつだけ守りたいもの」

リンダ・スー・パーク//作 ロバート・セーヘン//絵 佐藤淑子//訳 K 931ハ

玉川大学出版部 2024年9月発行

『家が火事になって、何か一つだけ持ち出せるとしたら、何を選びますか？（但し、家族やペットは無事）』先生から出された宿題に、生徒たちが答えています。みんなの答えは様々です。“ひとつだけ”を考えることは、自分の気持ちや価値観を見つめ直すことなのかもしれない、と考えさせられます。



「ミツツボアリをもとめて アボリジニ家族との旅」

今森光彦//著 K 382イ 偕成社 2024年9月発行

南オーストラリアの砂漠地帯に生息する昆虫、“ミツツボアリ”。その写真を撮るため、著者はアボリジニの家族とともに、“ミツツボアリ”を取りに行く旅へ。とても不思議な“ミツツボアリ”の生態には驚きです！他にもアボリジニとの旅や暮らし、生き物や植物など、オーストラリアの文化と自然を、美しい写真とともに楽しむことができます。

※この他にも、あたらしい本がたくさんあります。くわしくは、「としょかんホームページ→WebOPAC 本をさがす →資料検索→新着検索→新刊検索または新着検索→子どもの本」をチェックしてみてくださいね。